

計算入門トレーニング

Tableauの計算入門トレーニングへようこそ。

付属の練習ワークブックをダウンロードして参照し、実際にTableauを操作してみてください。

Excelの数式と同じように、計算機能を利用するとさまざまな方法でデータを操作できます。計算フィールドは、データウィンドウを右クリックして[計算フィールドの作成]を選択するだけで簡単に作成できます。

計算関数のタイプ

Tableauの関数は、主に

- 数値
- 文字列
- 日付

Tableauの計算機能

計算フィールドは、式を定義して作成します。例として、「利益」についての簡単な論理計算を作成してみましょう。

- IF SUM([利益]) > 0 THEN "positive" ELSE "negative" END
 - 説明を単純化するために、実際の「利益」がゼロの場合は無視しています。
 - 「利益の正負」という名前を付けます。
- このフィールドの前に小さい等号(=)があることに注意してください。これはデータソースから取得されたままのデータではなく計算フィールドであることを示しています。
- 計算フィールドを[色]にドラッグし、この階層を調整すると、利益の棒に適切な色が付きます。

アドホック計算

コストの現状を見たい場合、ダブルクリックしてシェルフに入力するだけで、簡単にビューにコストを追加することができます。

- 入力するとオートコンプリートのポップアップが開きます。Enterキーを押して選択します。
- データウィンドウからフィールドをドラッグしてEnterキーを押すこともできます。
- これで、計算結果がビジュアル化され、この式の新しいフィールドがシェルフに追加されました。
- 便利な計算なので確保しておきたい場合には、フィールドをシェルフからデータウィンドウにドラッグするだけです。必要に応じていつでもフィールドの名前を変更できます。

表計算の簡単な紹介

Tableauにおける計算処理を学習するときに特に重要な概念は、通常の計算と、表計算と呼ばれるものとを区別することです。

- 「売上」から「利益」を引くなど、通常の計算はTableauがデータソースに対して実行するクエリの一部として処理されます。その計算に必要な演算はデータソースによって処理され、その結果だけがTableauに返されます。
- 表計算は、計算結果をもとに実行される二次的な計算です。この演算処理は、Tableauによって実行されます。
 - たとえば売上の累積などです。
 - 表計算は、フィールド上のこのようなデルタ記号で表されます。

簡易表計算

- 表計算は、計算エディターで表計算関数を使用して他の計算と同じように記述できます。
- あるいは、よく使う計算は、「簡易表計算」としてあらかじめ定義されています。
 - これには「累積」、「合計」に対する割合、前年比成長率などがあります。
- 詳細については、表計算に関するビデオを参照してください。

最後に

計算入門トレーニングを視聴いただき、ありがとうございます。Tableauの使用方法について、引き続きオンデマンドトレーニングをご覧ください。